

事後評価シート

コード 5-2-3	事務事業名 生ごみ処理機購入助成事業	所管部課 環境防災部ごみ減量推進課
--------------	-----------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 生ごみ処理機等を購入する市民に対し、その費用の一部を助成することにより、家庭等から排出される生ごみ等の減量化を図る。	事業の区分 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 生ごみ処理機等の購入額(消費税を除く)の2分の1の額(その額が4万円を超える場合は4万円)を申請により助成する。	根拠法令等 西東京市生ごみ減量化処理機器購入助成金交付要綱
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 申請処理台数	活動指標の考え方(定義) 生ごみ処理機等を購入し、助成を希望した市民からの申請台数
	アンケート調査実施回数	利用者に対して実施した制度に関するアンケート調査の回数
	成果指標名 1次 助成金額	成果指標の考え方(定義) 1次 市が助成を決定し、交付した助成金の総額
	1次 助成件数	1次 市が助成を決定し、助成金を交付した件数
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	1,782	3,165	3,768	4,800
	国庫支出金					
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		1,782	3,165	3,768	4,800
	所要人員(B)	人	0.3	0.3	0.3	0.3
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,482	2,498	2,456	2,456
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	4,264	5,663	6,224	7,256
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (申請処理件数)	千円	55	46	42	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	基			120	120
	実績値	基	78	122	147	
活動指標	目標値	回			1	1
	実績値	回	1	1	1	
1次成果指標	目標値	千円			4,800	4,800
	実績値	千円	1,782	3,165	3,768	
1次成果指標	目標値	件				147
	実績値	件	75	122	147	
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	助成金の交付者に対してアンケートを実施している。助成金への賛成意見が多く、ごみの減量につながっているとの意見も多い。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	東京26市中21市で実施しているが、3市を除く市が当市と同じ50%の補助率である。また、上限4万円の助成金額は3市のみであり、1万円、2万円、3万円が主である。現状では、当市は補助金額も高い水準にある。
	運営上の制約条件・外部要因等	

コード 5-2-3	事務事業名 生ごみ処理機購入助成事業	所管部課 環境防災部ごみ減量推進課
--------------	-----------------------	----------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切・目標	目的の妥当性	2	
	目標の妥当性	1	
	緊急性	3	
2 市が関与する必要性	法的義務性	2	
	必要性	2	
	民間との役割分担	4	
3 内容の適切さ	ニーズ	2	
	規模・方法の妥当性	1	
	公平性	1	
4 実施手段の適切さ	有効性	3	
	効率性	1	
	独自性	1	
合計		23	

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>ごみ減量施策の一つとして、個人で取り組める効果的な制度である。今後も、市民に対しごみ減量を推進するため、処理機の機能も含めたPRも行いながら制度の活用を図りたい。申請処理台数や助成金額が大きく増加傾向にあり、市民のごみ減量に対する意識も向上していると思われる。ただ、助成金が他市と比較して高く、現在の水準が適正であるか再検討する必要がある。</p>

18年度における改善点	アンケートで、助成金について知らない人もいるとの意見もあるので、制度の内容について、市報やホームページを活用し、改めてPRする必要がある。また、アンケート結果を活用できるようにするため、内容や実施時期を見直す必要がある。
-------------	--

	評価結果	判断理由、説明等
二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>生ゴミ処理機については、今後のゴミの有料化に伴い、予算総額の急激な増加が予想される。また、助成限度額も他市に比べ高い水準にある。今後は、予算総額を増加せず補助率を下げることで総件数を伸ばすべきである。なお、これらの検討は、有料化前に実施する必要がある。</p>

	評価結果	判断理由、説明等
行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>二次評価記載のとおり、予算総額の急激な増加が予想される。そのため、本市の財政状況を踏まえると、今後は予算総額は現状維持とし、予算の範囲内で一件あたりの助成額を毎年定める等の措置が必要である。</p>